

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	65	開所して4年の間に地域の高齢化率の増加とともに認知症人口も正比例している。各サービス事業所にも事業開始から認知症進行と重篤化に戸惑いを隠しきれない。サービス事業所だけでは支えきれないケースもある。その中で認知症を理解した対応が出来ず誤った対応を続けた結果に症状が重篤化し施設入所に至ったケースもある。理念に掲げる最期まで人として全うできる介護が困難な事例もある。	1. 地域に対して認知症を理解していてもらう。地域に発信していく。 2. 近隣サービス事業所との交流をはかることで地域住民、家族に認知症ケアについて浸透させていく。	1. 地域運営推進会議に地域住民の参加を増やす。若い世代に声をかける。 2. 退所された家族に参加し経験談を聞く。	12ヶ月
2	12	就業環境が整っていても離職率が高く一年間の早期退職者が20人近くいる。1~3日で辞める人、突然入社しなくなる人に1か月のシフト作成されている中での離職は、現場を混乱させている。	1. 介護現場での就労を支援し早期離職を防止できる。	1. 職場体験により就労意思の確認 2. 未経験者に対し指導者を固定し達成率に合わせた指導を行う 3. 就業意欲を失わないような取り組みとして一年の目標、研修計画、資格取得のための支援 4. 管理者の早期離職させない講習会参加	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。